

電話の向こうに君の笑顔が見える……

山形いのちの電話

広報49号

2014.6.18

yamagata

20年の歴史を踏まえ、 充実した電話相談を提供しよう

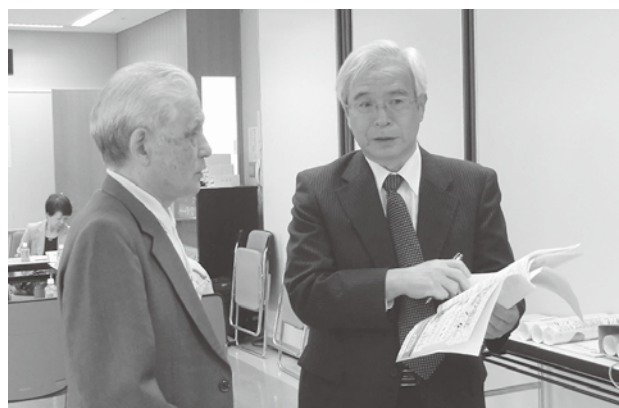
事務局長 佐藤 藤 彰



山形いのちの電話が開局して、今年で20年になります。この節目の年に事務局長の任に就くこととなり、身の引き締まる思いをしております。いのちの電話のボランティア活動経験が少ない私でありますので、皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

本センターの歩みについて理解しようと資料等を見ているのですが、開局するまでの準備期間、開局してからの10年間、その後の7年間、そして今年も含めた3年間と区切って振り返った方が良いと思うようになりました。開局して20年ですが、実は25年の歩みがあることがわかりました。特に後半の7年は維持していくことの大切さ、その後の3年は更に充実・発展していくための課題を教えてくれているように思えたからです。いろいろな立場でこれまで関わっていただいた方々は、延べ人数にすると、何人になるのだろうとも考えてみました。ご奮闘いただいた故人の方々も含めて、少なくとも6000人は超えているのではないのでしょうか。20周年という今年は、これらの方々の思いに心を寄せて語り合い、今、自分ができること、自分たちでできること、してみたいことを確認し合う年であるように思えてなりません。

この3月に、「山形いのちの電話の方々は、よく聴いてくれます。ありがとう。」と、県外の掛け手からの葉書が事務局に届きました。「聴いてもらって良かった」と感じてもらえるような電話相談を提供し、信頼されるいのちの電話として機能していくように今後とも努めてまいりますので、関係各位の皆様のご理解とご支援を宜しくお願いいたします。



山形いのちの電話 会報49号

目 次

- | | | | |
|-----------------------------------|-----|------------------------|-----|
| ◆20年の歴史を踏まえ、
充実した電話相談を提供しよう …… | 1 p | ◆相談員を支えて下さっている先生の紹介 …… | 3 p |
| ◆いのちのタスキを繋ぐ …… | 2 p | ◆いのちの電話相談員になるには …… | 4 p |
| | | ◆2014年 第17期電話相談員募集 …… | 5 p |
| | | ◆相談員より一言 …… | 5 p |
| | | ◆インフォメーション …… | 6 p |

いのちのタスキを繋ぐ

前事務局長 島 貫 新 平



伊藤和子元事務局長の病休辞任のあと、後任の人選が難航し、開局準備段階から関わりをもっていった者のひとりとして、暫定的にお引き受けしたのが7年前でした。こんなに長くする筈ではなかったのですが、やっと後任の方にタスキを繋ぐことができ、ホッとしているところです。

60年前、「人は何のために生きているか?」と悩み、自殺未遂の経験をしながら、今もなお、後期高齢になるまで生かされていることに、限りない感謝の思いで満たされています。

半生を振り返り、人生の時々に応じて、人の思いとは異なることがあっても、天の采配があり、導かれてきたものと信じています。

「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら、何の得があるのか。自分のいのちを買い戻すのに、どんな代価が支払えようか。」

いのちの尊さに気付きを与えられました。人は生きているというよりは、生かされている存在であることを知りました。

何のために生きているかというよりは、与えられているいのち、その人生から求められているものは何かということ、問い続けるようになりました。

イギリスの「サマリタンズ」、オーストラリアの「ライフ・ライン」などの「いのちの電話」の運動が始められた時の情報を知る立場にあり、又、東京でいのちの電話が開局する時には、牧師になっていたこともあり、大きな関心を持ち、山形の開局にも呼びかけ人の一人として関わらせていただきました。このような経緯の中で、人生の後半になり、事務局の仕事をするようになったことは、見えざる摂理のなかに導かれていたように思えてなりません。

このことのために、自殺未遂の経験、キリスト

教への入信、牧師への道、平和運動を通して政治の世界との関わり、更に、失明の宣告と奇蹟的な癒しなど、すべてのことが相働いて導かれたことであり、人生からの召命に対する応答として務めさせていただいたものであります。

「老兵は静かに消え去る。」と言った人がいますが、「しんべい」は、この度、事務局の務めから離れても、いのちの電話のボランティア活動と無縁になるということではありません。評議員の役は継続させていただきますし、資金ボランティアとしても、この活動に関わらせていただきます。

私の願いは、自殺者が減少することであり、自殺予防のための活動が国民的な関心事に広がることでもあります。

寒村で農家の次男坊として育ちましたが、小学生の時、将来の夢として、「村長さんになること」と書いたことがありました。

白髪老翁の夢、「ソン・チョウ・サン」は、今、「尊・聴・参」に変わりました。

①与えられたいのち、すべてのいのちを尊ぶこと。

②ひと（他人）の苦しみ、悩みなどに心を向け、聴くこと。

③更に、自殺予防の活動に参加することです。

「若者は幻を見、老人は夢を見る。」という言葉がありますが、ソン・チョウ・サンの夢の中で、いのちを紡ぎ、この活動を繋いでいきたいと願っています。



相談員を支えて下さっている先生の紹介

いのちの電話について思う

三友堂病院 心療内科 灘 岡 壽 英



私が山形いのちの電話のお手伝いをさせていただいたのは、この活動がスタートする前の準備段階でしたから、もう20年以上も前のこととなります。どのようないきさつで私に声がかかったのかは分かりませんが、当時私は大学病院に勤めていたので、比較的暇そうな人間ということで指名されたのかもしれませんが。いのちの電話という活動があることは聞いておりましたが、その当時の私はそこでどのようなことをやっているのかについて全く知識がありませんでした。その準備にあっていた方々のお手伝いをしながら、私も一緒に電話相談の何たるかを勉強させていただいたのを覚えています。

その後私の勤務先が、県立鶴岡病院に移りましたので、距離的な関係もあり、直接的にお手伝いをする機会はほとんど無くなりました。たまたま講演会の案内をいただいて出席する程度で、いのちの電話との縁はほとんど切れたものと思っておりましたが、昨年私が病院を退職して14年ぶりに山形へ戻ってくることになり、そのことがどこかでスタッフの方の耳に入ったようで、また声をかけていただきました。10年ひと昔とは言いますが、私にとってはほとんど20年ぶり、まさに浦島太郎のような気分です。開設当時とはスタッフの方々の顔ぶれもだいぶ変わったと思いますし、何よりも世の中がすっかり変わってしまいました。

我が国では慢性的な不景気が続いており、かつて世界経済をリードしていた我が国の産業は見る影もなく、国全体がすっかり自信を無くしてしまっているようにも見えます。そのせいか我が国では平成10年以来自殺者が多い状態が続いており（2年前からようやく年間3万人を下回るところまでできましたが）、3年前の東日本大震災は私た

ちの気持ちをさらに重いものにしてしまったように思われます。世の中の鬱積した気分を一掃しようとするかのように、一昨年誕生した自民党政府からは、かつての力強い日本を取り戻そうとするかのような、威勢の良い言葉が飛び交っています。気持ちが落ち込んでいるときには、嫌なことは考えたくないという気持ちが働くもので、現在の内閣はかつてない高レベルの支持率を維持しています。しかし世の中はどんどん変化しており、かつての栄光を取り戻すことを考えるより、新しい価値観に基づいた日本を作ることの方が大事なのではないかという気がします。

政治家は耳触りの良い言葉を発信するのが仕事なのかもしれませんが、私はこういう時代だからこそ、じっくり社会を見据えた地道な活動が必要なのではないかと思います。いのちの電話もそういう意味では、社会の底辺を支えている重要な活動であり、相談員の方々の日々のご苦勞には頭が下がる思いです。しかし相談員も人間ですから、このような仕事をしていれば次第にストレスがたまってくることもあろうかと思えます。自分自身がストレスを抱えた状態では、とても人の悩み事など聞けるものではありません。まず自分自身の精神的健康には常に気を配っていただきたいと思えます。

つい勢いに任せて偉そうなことを言ってしまいましたが、私もいつの間にか年金をもらう年齢になってしまいました。これから先私ができることはそれほど多くはないと思いますが、声をかけていただければ、できる範囲でのお手伝いをさせていただくつもりです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

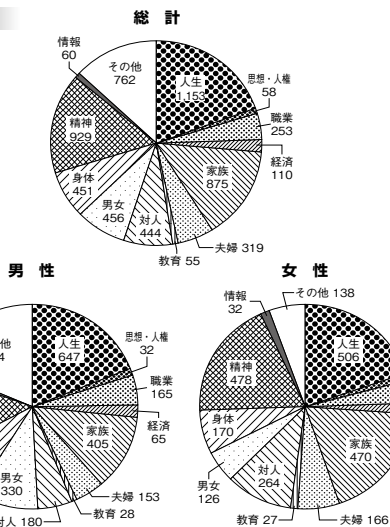
いのちの電話の相談員になるには



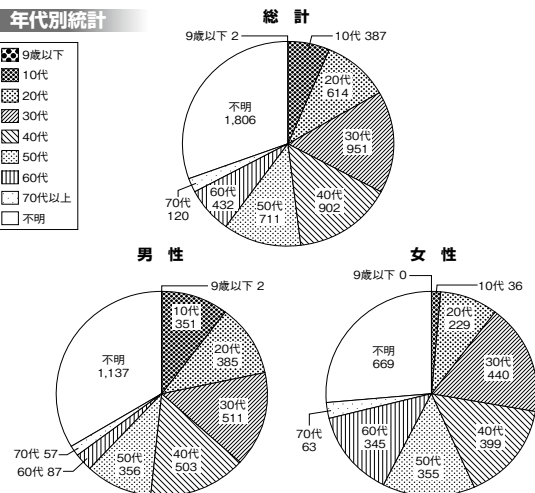
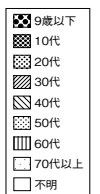
2013年1月~12月の受信統計

総件数 5,925件 男性3,389件 女性2,536件

問題別統計

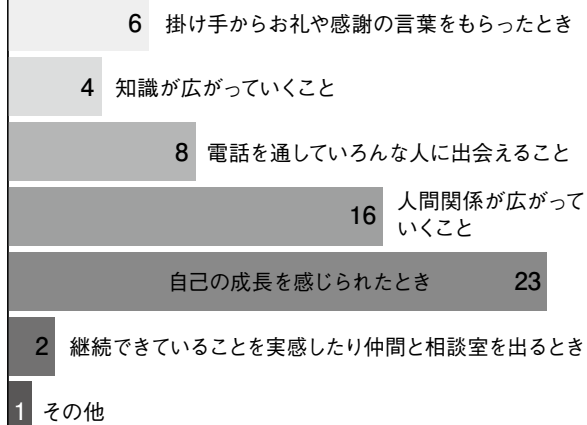


年代別統計

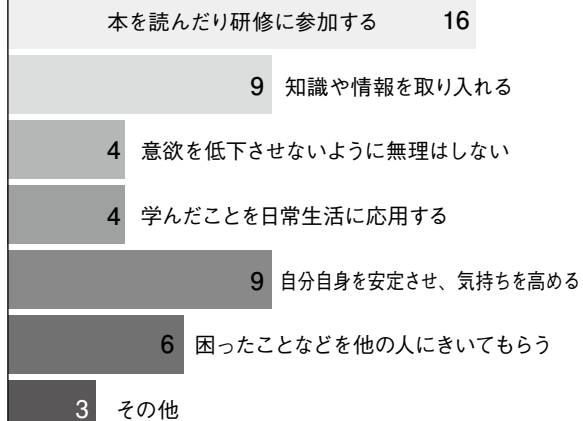


相談員アンケート

ボランティア活動に参加してよかったと思うこと



相談員としての自分の意欲を高めるために工夫していること



……あなたの力をかしてください……

2014年 第17期電話相談員募集

◆いのちの電話相談員とは

- 相談員になるには、約1年半の研修を終了し、認定される必要があります。
- 相談員は責任を持って活動していただくボランティアであり、認定後も継続して学びの機会が用意されています。
- 相談員は電話相談にあたるほか、募金・広報活動など山形いのちの電話活動全般に参加していただくことも期待されます。
- いのちの電話の活動は無償のボランティア活動です。交通費、研修費など自己負担を原則としています。

◆募集案内

- 募集条件**：22歳～68歳
(資格・経歴などは問いません)
- 募集期間**：2014年6月中旬～8月30日必着
(募集要項は6月中旬、発行になります。)
- 募集定員**：20名
- 受講料**：前期・後期各12,000円
(別途・宿泊研修代10,000円)

要項、募集に関する詳細は「山形いのちの電話」ホームページをご覧ください。要項のダウンロードもできます。お問い合わせは「山形いのちの電話」事務局までお電話ください。

あなたも、悩み苦しんでいる人の相談相手になりませんか？

相談員より一言

相談員になって

相談員 T・N

年齢も地域も違う人達と同じグループで、何のためなのか訳も分からず受けていた研修、それは私にとってとても新鮮なものでした。グループの雰囲気もだんだん和んでいき、時にぶつかり、そして笑いあい、いろいろ考えさせられました。

電話を受けるようになってからは、答えのない問題を投げかけられ、なんとか答えをだそうとしていたかもしれません。

「死」という言葉に怖くなり、相手の気持ちを避けたこともあります。また、かけ手の気持ちに触れ、優しい想いをいただいて、逆に私が嬉しくなったりもしました。そして、気が付かなかった自分自身とも出会いました。

逃げたくなることもあります。人の気持ちを受け止め、自分と向き合えるようになってきたらと思っています。新しい出逢いに期待と不安もありますが、今は周りの方々の温かさを感じ、これからも続けていけそうです。

3年目に入って

相談員 ありのままの私 T・U

電話を取らせていただいて3年目に入ろうとしています。最初は少しでも社会に貢献できればなどと思っていたのですが、今考えれば恥ずかしい気持ちです。今の私は自分の為に続けているからです。

いのちの電話の魅力は、さまざまな出会いです。もちろんいのちの電話の人材の宝庫であることは、誰もが実感していることだと思います。電話の向こうの方（掛け手）との出会いもあります。自分の癖や至らなさが露呈し、落ち込むことも少なく無かったと思います。奥深くの自分にも出会い、これからの人生のエッセンスになってくれると思います。掛け手のなかには、いのちの電話にふさわしくない相手の方もいますが、私の心がざわついた時は、お断りも自然にできるようになりました。しかしそれ以上に、相手の方の人生の一片に出会い、聴かせていただき、価値観の多様性を教えていただき有り難く思っています。「危機の電話」は多くはありませんが、本来の目的でもありますので、距離感を保ちながら対応して、仲間の皆様に振り返りを手伝ってもらっています。

「出会い」という宝をいただいて、健康である限り、自然体で相談員を続けることが、私の人生の幸せの一部になっていると感じています。

★INFORMATION★

自殺予防

山形いのちの電話

2014公開講座 7/6日

開場: 13:00
開演: 13:30~15:30

演題 「葉っぱのつしディ」の朗読といのちのお話

講師 絵本作家 **みらいなな氏**

プロフィール
みらいなな
1940年生。青山学院大学英文科卒。絵本翻訳歴50年。
代表作「葉っぱのつしディ」の絵本約20冊、講師絵本作家シンジリーの絵本3冊他、多数。
現在、つしディのメッセージをテーマにしたいのちの講演活動を行っている。

会場 **山形県生涯学習センター 遊学館 2Fホール**

主催 **社会福祉法人 山形いのちの電話** 〒990-8691 山形中央郵便局私書箱99号
TEL.023-645-4377 FAX.023-645-7795 事務局/ 執務時間: 月~金 10:00~16:00

後援 山形県 / 山形県教育委員会 / 山形県市長会 / 山形県町村会

事前申込みをお願いします。申込書はウラです。FAXまたは電話にて。

◆申込み…住所、氏名、電話番号をご記入の上、山形いのちの電話までFAXにてお申込み下さい。
《山形いのちの電話》 FAX: 023-645-7795

◆対象…興味のある方ならどなたでも

◆定員…200名

◆締切り…7月4日(金)

参加無料
皆様のご参加をお待ちしております。

第12回 山形いのちの電話チャリティコンサート

いのちをうたう

コンサート

2014.12.29 [月]
18:30開演(開場 18:00)
山形グランドホテル
2F「サンリバー」
お一人さま
10,000円(朝食、お飲物付、税別)

昨日・今日・明日
～思い出の向こう側へ～

出演
ソプラノ 高橋まり子
テノール 高橋寛
チェロ 増川大輔
ピアノ 須藤 恵美子

お問合せ
090-3120-9572 [三浦]

チケット代金の一部を、「山形いのちの電話」の活動資金とさせていただきます。

主催 / 山形いのちの電話 理事長 古澤 茂堂
山形いのちの電話 後援会長 本間 利雄
山形いのちの電話 評議員 三浦孝太郎

自殺予防フリーダイヤルのご案内 毎月10日 時間:午前8時～翌日午前8時 **0120-738-556**

- 11月 2日 15期生・後期講座6回目
5日 事務局会議
6日 運営会議
8日 役員会
研修委員会
9日 相談委員会
10日 自殺予防いのちの電話
13日 山形県ひきこもり会議
16・17日 日本電話相談学会(茨城)
17日 相談委員会・総会
- 12月 4日 事務局会議
6日 運営会議
10日 自殺予防いのちの電話
21日 相談委員会
- 22・23日 いのちの電話の将来を考
える会(千葉)
- 28日 山形いのちの電話チャリ
ティーコンサート
- 1月 7日 事務局会議
10日 自殺予防いのちの電話
運営会議
11日 16期生・後期講座第1回目
25日 ファシリテーターと研
修委員会の合同会議
- 2月 5日 事務局会議
7日 運営会議
8日 16期生・後期講座第2回目
相談委員会
10日 自殺予防いのちの電話
14日 研修委員会
22日 ワーキンググループ
23日 やまがた市民活動まつり
参加

- 26日 広報委員会
3月 5日 事務局会議
7日 役員会
8日 16期生・後期講座第3回目
10日 自殺予防いのちの電話
11日 運営会議
17日 山形県自殺対策相談機関
ネットワーク検討会
23日 15期生・二次審査(面接)
研修委員会
- 4月 1日 事務局会議(事務局長交代)
5日 内部監査
10日 自殺予防いのちの電話
11日 運営会議
14日 20周年記念事業準備会議
18日 広報委員会
19日 15期生・認定式
3年目研修打合せ会議
ワーキンググループ
21日 研修委員会
5月 7日 事務局会議
9日 役員会
10日 自殺予防いのちの電話
相談委員会
16日 運営会議
研修委員会
24日 16期生・後期講座第4回目
30日 ボランティアリーダー研
修会
31日 ワーキンググループ
20周年記念事業実行委員会

年末特別賛助金のお礼

総額 3,020,700円 (160件)

チャリティーコンサート実行委員会 400,000円
(株)三浦板金製作所 600,000円
他の皆様方

2013年も多くの皆様よりご協力をいただきました。
本当にありがとうございました。

編集後記

広報誌49号をお届け致します。
お忙しい中、原稿をお寄せ頂き感謝申し上げます。
私の好きな良寛さんの詩があります。
「花 無心にして 蝶を招き、
蝶 無心にして 花を訪ぬ。……」
自然の摂理に任せ、無心に事を運ぶ難しさを感じるこ
の頃。(に)

社会福祉法人 山形いのちの電話

事務局 〒990-8691 山形中央郵便局私書箱99号
電話/023-645-4377(事務用) FAX/023-645-7795
発行人/古澤 茂堂 編集/広報委員会

※この広報誌は、共同募金からの助成で作りました。